

## 1. はじめに

昨今持続可能型の社会という「テーマ」を頻繁に見聞きするようになったが、その言葉の定義や実践が必ずしも共有されているとは言いがたい。ゴミの排出量は、微減(22年度前年比1.9%減)しているし、リサイクル率も微増(22年度0.3%増)はしているが物の性能もあがりリサイクル装置も日々向上している中での数字です。また世界規模で温暖化の問題が騒がれる中温室効果ガスの排出量は増減(1990年比)を繰り返しております。

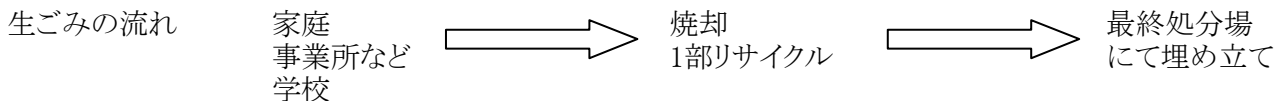
農業においては、TPP・後継者不足・休耕地の増加・化成肥料の高騰などの様々な問題を抱えている現状です。

No.4グループでは、そういった現状を把握した上で、どのようにしていったらこの経済成長型の社会から未来の世代に持続成長できる循環型社会を構築できるか提案していきたいと思っております。

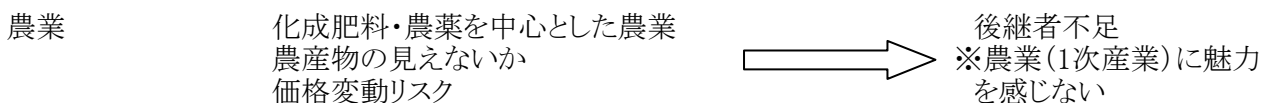
ごみ総排出量	4,536 万トン(前年度 4,625 万トン)	[1.9% 減]
1人1日当たりのごみ排出量	976 グラム(前年度 994 グラム)	[1.8% 減]
ごみ処理の状況:最終処分量は前年比4.5%減少。		
リサイクル率	20.8 %	(前年度 20.5%)
食品リサイクル率 事業系	1,553 万トン(排出量 2,051 万トン)	
一般廃棄物	55 万トン(排出量 1,072 万トン)	

農水賞・環境省HPより抜粋

## 2. 経済成長型の現状



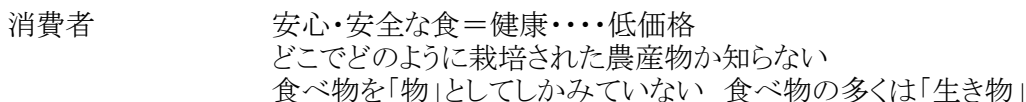
メリット:焼却処分の為、分別などの必要が無く処理が簡単  
 デメリット:生ゴミの大半は水分の為、多大なエネルギーを必要とする  
 CO2・ダイオキシンなどが有毒ガスが発生  
 最終埋め立て処分場の現象



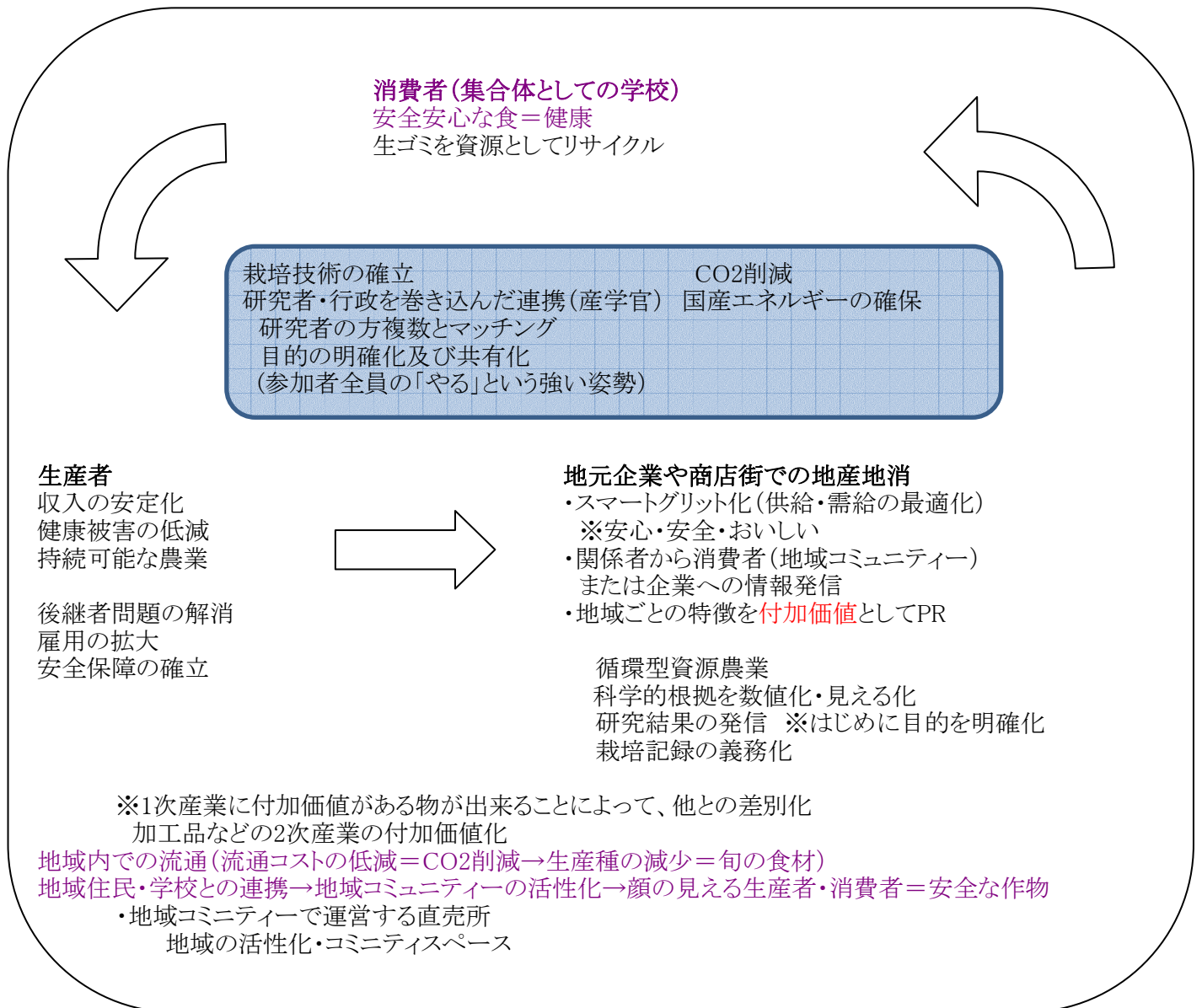
メリット:農作業の省力化・安定化  
 デメリット:肥料の枯渇  
 外観重視の農産物・残留農薬  
 収入の不安定化



メリット:いつでも欲しい物が手に入る  
 デメリット:中間マージンの増加



### 3. コミュニティーを中心とした循環型社会とは



### ↑ 教育

### 4. まとめ

今回は生ゴミリサイクルを中心に提案させていただきましたが、持続可能な循環型社会を構築していくにはほかにも林業や再生エネルギーまたは教育など様々なことを複合的に検討し、数字だけでなく現場の声をもとに行動していく必要があると改めて感じました。

また地域(都心と地方など)による選択肢(どのような廃棄物がでて、どのようにリサイクルするか)などの地域ごとのニーズも検討していかなくてはなりません。

しかし持続可能な社会のキーワードとしてループ(循環する)という事は非常に重要なポイントとしてあげられるのではないのでしょうか。

生ゴミは食料から生まれ その食料の多くは「農業」から始まります。目に見える場所で摂れた農産物を近所の消費者が消費する。顔の見える生産者と消費者の関係が「地域コミュニティ」の基礎となり「安全安心な食」への一步となり 低炭素社会へも貢献すると考えます。

漁業での例ですが玄界灘の見える寿司屋で「玄界灘で採れたもの」のみを食材に「お任せ」しかメニューに無い店が大繁盛しています。そこでしか食べれない贅沢を農産物でも各地で展開することが可能だと思います。

一次産業で「カーボンフットパス」による課税を検討するのも一つの方法かもしれません。そうすることで特産物だけに固執することなく 酪農なども含め多くの作物を各地で作る=今まで効率が悪いとされた多品種

生産が見直され地産地消の基礎ができると考えます。

地域コミュニティで運営する直売所は「箱物」であってはならない。軽トラマルシェや仮設テントマルシェを週末のみ地域の緑豊かな広場で開催。そこで「平日はどここの店でうちの農産物扱ってるからよろしく！」とアピール。既存店との共存を図りながら顔の見える関係も構築できるのではないのでしょうか。

教育では「もったいない」文化を再度日本人の美徳とすること。「一次産業」が一番尊い産業＝「1位産業」であることを大人も含め意識するようになることが重要と考えます。また農業による土壌の「富栄養化」が河川を汚染し海を変えていく事もしっかり勉強する必要があります。「山里海連関学」「生態系」などの学問を義務教育の早い段階教える事で意識が変わっていくのではないのでしょうか。

なにかを始める際には、どのようにしたらそれが循環するのか、また循環しないのであればそのリスクがどれ程のものなのかを検討・精査すると今より更にすばらしい未来に繋がるのではないのでしょうか。まだまだ政策としては具体化していかななくてはならない問題はたくさんありますが、この一歩をきっかけにアクションを起こし、より多くの方々に情報を発信・問題を共有していければと思います。